

## ■社会心理学

### <概要>

授業テーマを「信頼と社会的評価の社会心理学」とする。「金をもうけるために産地偽装した」と公言した経営者がいた。この発言は、われわれが生きている、この時代が欲望の沸騰したアノミックな社会状態にあることを象徴している。

本講義は、そうした状況にある今、ここにある現代の日常を「信頼と社会的評価」を鍵概念にして読み解くことを目的とする。

関係性の基礎を成す「信頼」については、崩壊しつつある同質的共同性に基づく「信頼」から異質性に基づく新たな「信頼」の構造化は可能なのか等々について考察する。社会的評価については、われわれは何を基準に人々を判断し、評価しているのかについて、いくつかの所論を示しながら現代社会の有する負の一面を考察する。

### <目次>

#### 1 ガイダンス, 定義

内容と方法について; 信頼の定義, 信頼と誠実

#### 2 信頼は何に基づくのか(1)

個人と個人, 個人と組織における信頼は, ブランド, 伝統あるいは倫理観に基づいている, 討議。

#### 3 信頼は何に基づくのか(2)

システム信頼, 討議。

#### 4 社会の相違と信頼

同質的社会の信頼と異質的社会の信頼。

#### 5 経営者の倫理観

ケーススタディから見る経営者の企業倫理観, 討議。

#### 6 不確実な倫理観

倫理観は共有されていない, いる, 討議。

#### 7 経済的アノミー

経済的アノミー, 家族的アノミー等アノミー理論の解説。

#### 8 経済的精神的アノミー

アノミー現象としての無限の欲望とその結末, 討議。

#### 9 社会的自殺, 暴力

自殺の社会的文化的要因, 暴力性の社会心理的要因分析。

#### 10 逸脱理論

逸脱の伝統的アプローチ及びラベリング理論の解説。

11 スティグマと社会的評価（1）

信頼を失うこと，スティグマ理論と評価されること。

12 社会的評価（2）

社会的アイデンティティと個人的アイデンティティについて。

13 偏見の社会心理

偏見の心は，いつ生まれる。エスニスティ社会を前提にして考える。